

特集Ⅶ 世界の鉄道の発展に向けて

海外鉄道プロジェクトへの参画

地球環境問題への意識の高まりや新興国の経済成長の中で、環境にやさしい公共交通機関として世界的に鉄道への関心が高まり、現在、世界各地で多くの鉄道プロジェクトが検討されています。

当社は、2011年11月、西日本旅客鉄道(株)、東京地下鉄(株)をはじめとする、高速鉄道、都市鉄道、貨物鉄道に関する様々な実績とノウハウを持つ国内の鉄道事業者とともに、海外の鉄道コンサルティング業務を行う日本コンサルタンツ(株)(JIC)を設立しました。

現在、同社を中心に、事業可能性調査や設計業務などの海外鉄道コンサルティング事業を積極的に展開しており、さらに今後は、国内外の企業と協力し、オペレーション&メンテナンス分野(列車の運行や設備の保守など)に関する計画・指導・支援を含めた海外鉄道プロジェクトへの参画をめざしています。特に、成長著しいアジアを重点地域と位置づけるとともに、各地域の鉄道プロジェクトに対応し、世界各国の鉄道の発展に貢献しています。

また、それらの海外鉄道プロジェクトに関する情報収集などを目的に、従来の「ニューヨーク事務所」、「パリ事務所」に加え、2012年11月にはベルギーの首都ブリュッセルに「ブリュッセル事務所」を開設するとともに、2013年3月、アジアにおける拠点として、シンガポールに「シンガポール事務所」を開設しました。さらに2014年4月に鉄道に関する日欧のさらなる協力・連携をめざし、これらにつづく拠点として、英国に「ロンドン事務所」を開設しました。



ミャンマーにおける鉄道の様子



ガーナにおける鉄道の様子

鉄道車両製造事業の拡大と海外への展開

JR東日本グループ全体での相乗効果を最大限に発揮し、鉄道車両製造事業を「経営の第4の柱」として確立するために、2014年4月、JR東日本・新津車両製作所における鉄道車両製造事業を(株)総合車両製作所(J-TREC)に承継し、新津車両製作所は(株)総合車両製作所・新津事業所として新たなスタートを切りました。

当社グループは、製造から運行・メンテナンスまで一貫した総合技術力に磨きをかけて海外マーケットにおける日本の車両のシェア拡大をめざします。特に(株)総合車両製作所では、強みとしているステンレス車両について、ブランド名「sustina(サスティナ)」を冠して、信頼性の高さや低ライフサイクルコストといった優位性をアピールする事業戦略を進めています。

海外展開の具体的な成果としては、タイ・バンコクに建設中のパープルラインにおいて鉄道車両や各種地上設備のメンテナンス事業への参画が決定するとともに、(株)総合車両製作所が鉄道車両(21編成/合計63両)を製造し供給することが決定しました。



sustina



パープルライン向け車両のイメージ

グローバル人材育成プログラム Ever Onward

「海外展開を担う人材」の育成をめざし、当社では、海外留学、公的機関や他企業への派遣による海外展開、また海外鉄道コンサルティング業務OJTトレーニーなど、「グローバル人材育成プログラム Ever Onward」を推進しています。

2013年度は、昨年度に引き続き海外鉄道コンサルティング業務OJTトレーニーとして、公募制で選ばれた18名がデリー（インド）、ジャカルタ（インドネシア）、ホーチミン（ベトナム）、ヤンゴン（ミャンマー）へ派遣されました。また、新たに、オープンな視野とマインドの醸成を図ることを目的とした海外体験プログラム（短期留学）を実施いたしました。この海外体験プログラムでは、公募制で選ばれた約100名の社員が、世界14都市へ派遣され、語学学校での授業やホームステイ、課題解決プログラムなどを通じ、今後のグローバル化に必要となる、幅広い視野や語学力の取得に励みました。



ミャンマーでの保線作業風景
(PCマクラギ交換)



教室での授業風景